

マップ

日本語



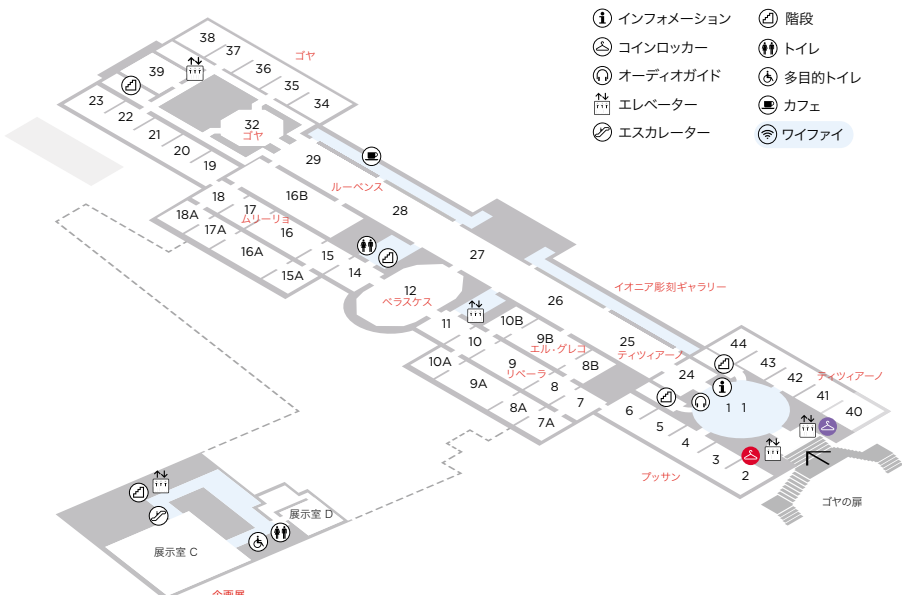
プラド美術館によるこそ

プラド美術館では、100以上の展示室・ギャラリーで作品を常設展示しています。

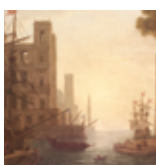
本マップでは主要アーティストの作品や他の優れた作品の一部の位置を紹介し、膨大な作品群を簡単に鑑賞して回れる手助けを行います。

現在展示されているコレクションは約1,800点に及ぶ膨大なものですが、その作品世界への入口としていただければ幸いです。

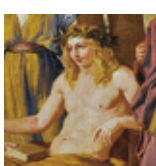
1階



ティツィアーノ
アンドレス島のバッカナーレ
展示室 42



クロード・ロラン
聖女パウラの乗船とオスティア港風景
展示室 2



プッサン
パルナツソス山
展示室 3



カラヴァッジオ
ゴリアテを负かしたダヴィデ
展示室 7A



スルバラン
四種の器のある静物
展示室 10A



リベーラ
ヤコブを祝福するイサク
展示室 9



エル・グレコ
胸に手を置く騎士
展示室 8B



ティントレット
使徒の足を洗うキリスト
展示室 25



レオーネ・レオーニとポンペオ・レオーニ
フェリペ2世
展示室 27



ベラスケス
ラス・メニーナス(女官たち)
展示室 12



ムリーリョ
無原罪のお宿り
展示室 16



ヴァン・ダイク
エンディミオン・ポーター卿と画家
展示室 16B



ルーベンス
三美神
展示室 29



ゴヤ
カルロス4世の家族
展示室 32

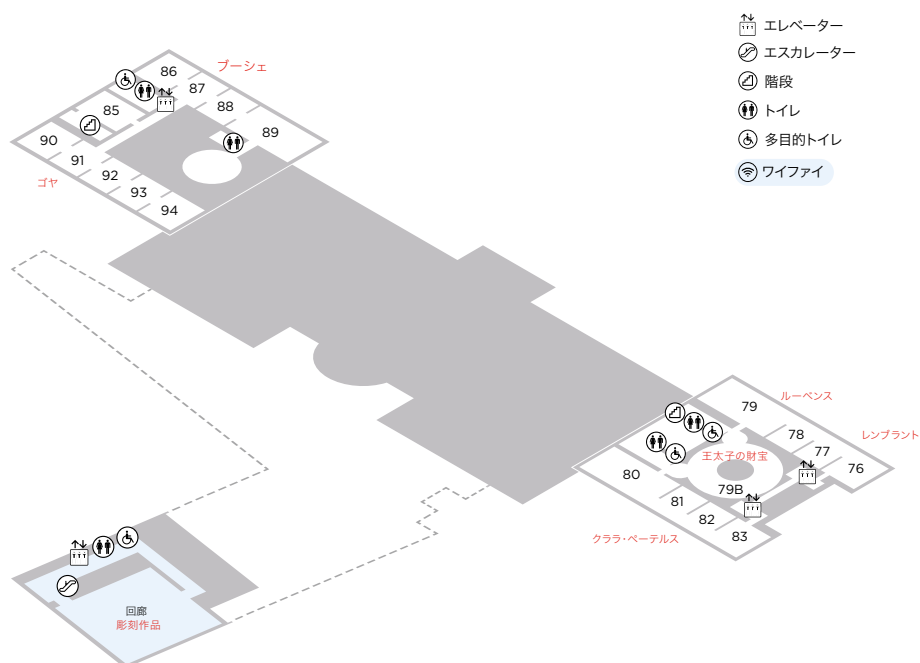


ゴヤ
裸のマハ
展示室 38



ティエポロ
無原罪のお宿り
展示室 23

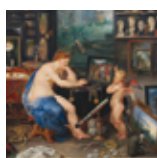
2階



ゴヤ
収穫又は夏
展示室 85



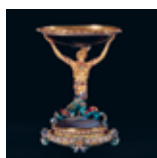
レンブラント
ユディット、ホロフェルネスの晩餐会の席にて
展示室 76



ヤン・ブリューゲルと
ルーベンス
五感 視覚
展示室 83



クララ・ペーテルス
鷹、鳥、磁器、貝殻のある静物
展示室 82



作者不詳
王太子の財宝黄金の人魚の杯
展示室 79B

唯一のコレクション

この秀麗な作品のコレクションは、主に16世紀から17世紀にかけて、スペイン王室が収集したものです。

当時のスペイン王室の絵画作品収集への情熱と作品の質を見極める鑑識眼により、17世紀末にはヨーロッパで最も優れた王室コレクションであるとされていました。

このコレクションの中心となる作品群が、本美術館に展示されています。

ティツィアーノに続いて、ヴェネツィア派の大家、ティントレット、ヴェロネーゼ、エル・グレコ、フランドル派のピーター・パウル・ルーベンスやアントン・

ファン・ダイクといった偉大な画家たちが、色彩を重んじる伝統的絵画を発展させていされています。

この伝統は、ベラスケスの作品に集約されています。

彼の作品は、美術館の中心を占め、リベラ、スルバラン、ムリーリョなどの名前とともに、17世紀がスペインの芸術が大きく輝いた時代であったことを証明しています。

絵画の伝統はさらに発展し、18世紀にはルイ＝ミッシェル・ヴァン・ロー、コラード・ギアキント、ティエポロなどの画家が登場します。

19世紀に入るころには、かの有名なゴヤ、プラド美術館が最大かつ最高のコレクションを有するゴヤがその頂点に立ちます。

もちろん、プラド美術館には、王室コレクション時代に集められた作品に加え、流派の異なる画家の作品も所蔵されています。

プラド美術館は、歴史の変遷によるスペイン社会の進展を正確に映し出す美術館なのです。

ファンデルウェイデンやボスのフランドル絵画、プッサンやクロード・ロランのフランス絵画、天才画家デューラーのドイツ絵画がスペインの絵画史に貢献してきました。

ラファエロ、パルミジャニーノ、コレッジョはイタリア・ルネサンスにおける非ヴェネツィア派の代表格。

そして、カラヴァッジョ、ガイド・レーニ、アルテミジア・ジェンティレスキは17世紀の代表的な画家です。

18世紀にはブーシェやメングスに代表される新たな趣向が加わります。

さらに、フェデリコ・デ・マドラソ、エドゥアルド・ロサレス、マリアーノ・フォルトゥニ、ホアキン・ソローリャが代表する作品群からは、激動のスペイン19世紀の多様なトレンドを感じるすることができます。

また、古典派の貴重な彫刻コレクションも卓越しており、16世紀から19世紀にかけてのさまざまなスタイルやジャンルの作品が展示されています。

中でもレオーニによる王家の肖像作品群は素晴らしいものです。

装飾美術のコレクションでは、「王太子の財宝」が際立っていますが、各展示室にある17～18世紀の硬質石造りのテーブルやサイドテーブルの作品価値も素晴らしいものです。

当初から美術館として設計された王立絵画館が1819年に開館しました。

これは、18世紀末に新古典主義建築家のファン・デ・ビリャヌエバが設計したもので、自然史資料をも含む美術館でした。

以来、プラド美術館のコレクションは絶えず増加していきます。新しい用途やサービスに対応するため、何度も改築や拡張が行われ、今日のプラド美術館キャンパスが徐々に形成されてきました。

プラド美術館の各部屋は、これまでも、そしてこれからも、芸術家や作家、知識を求める人たちのインスピレーションの源となっています。

また、美術館施設が主催する様々なサービスや活動を通し、高い普遍的価値を持つ歴史遺産の前で、ユニークな楽しみを体験できます。

インフォメーション

開館時間

月曜日から土曜日: 10.00-20.00

日曜日・祝日: 10.00-19.00

1月6日、12月24日、31日: 10.00-14.00

閉館30分前まで入館できます

閉館10分前に展示室より退出願います

閉館日

1月1日、5月1日、12月25日

プラドカフェ

閉館30分前までご入場できます

音声ガイド

コレクションおよび特別展

入場券のオンラインおよびカウンターでのご購入

緊急事態の場合、冷静さを保ちつつ、当館職員の指示に従ってください。
ホール内での写真・ビデオ撮影は禁止されています。



MUSEO NACIONAL DEL PRADO

(国立プラド美術館)

Paseo del Prado s/n

28014 Madrid

入場券販売とインフォメーション

www.museodelprado.es 入場券売り場

91 068 30 01 / cav@museodelprado.es

本日の当館の予定



フォローする



MUSEO NACIONAL
DEL **PRADO**

協力:



個人情報保護およびデジタル権の保証に関する2018年12月5日第3号基本法。プラド美術館が管理していることに留意してください。